天文クラブ☆通信

2023年
10月号

★ ９月の例会の報告 ★

１　日　時　　令和５年９月23日(土)18:30～ 月齢 8.4
２　場　所　　愛媛県総合科学博物館第２研修室
３　参加者　　合計16名
４　内　容　　・10月の例会について
・第３回天体観望会「太陽と金星」について
令和５年10月28日(土)10:30～12:00　9:00ミーティングルーム集合
・その他
☆　本日は、曇天のため第２研修室にてスライドを見ながら「星雲・星団の分類」と「太陽系の惑星」について学習をしました。なかなか晴れなくて残念です。

★ 10月の例会についてのお知らせ ★

１　日　時：令和５年10月28日(土)　13:00～　月齢 13.8　←いつもと時間が違います。
２　場　所：愛媛県総合科学博物館第１研修室
３　内　容：☆11月の例会について
☆第４回天体観望会「木星・土星」について
令和５年11月18日(土)19:00～20:30(先着順)
☆その他

★ 第3回天体観望会「太陽と金星」について ★

１　日　時：令和５月10月28日(土)10:30～12:00　月齢 13.8
２　場　所：ロータリー北側(太陽が見えていない場合は中止)
３　テーマ：「太陽と金星」
４　日　程：9:00～　ミーティングルーム集合
準備(太陽望遠鏡２台、太陽投影板１台、金星用望遠鏡１台)
10:30～12:00　太陽・金星の観察
12:00～　片付け、食事
13:00～　例会
５　担当者
来館者誘導　事務局
太陽望遠鏡　(　　)
太陽望遠鏡　(　　)
太陽投影板　(　　)
金星望遠鏡　(　　)
当日の参加者で相談します。

６　備考

(1)　観望会(太陽と金星の観察)が土曜日の午前中のため、スタッフの人数が不足しています。現在、お手伝いしていただける方を募集しています。参加可能な方は伊藤まで、LINEまたはメールにて連絡してください。ご協力をお願いします。

(2)　中止の判断は、明らかに荒天が予想される場合は前日(10/27)の夕方、疑わしい場合は当日(10/28)の午前７時に決定し、天文クラブのLINEにて連絡します。

(3)　観望会に参加できる方は９時ミーティングルーム集合です。例会のみに参加の方は13時第１研修室に集合です。よろしくお願いします。

★ その他 ★

10月７日(土)からは、企画展「プラネタリウムと愛媛」が始まります。
３ページ目と４ページ目にチラシを掲載しています。
詳しくは博物館のホームページをご覧ください。

★ ９月～10月の天文現象 ★

９月23日(土)04:32	◐上弦
９月29日(金)18:58	○満月　中秋の名月（十五夜）
10月２日(月)21:46	おひつじ座δ星ボタイン（4.4等）の食
	（新居浜：暗縁から出現、高度25°）
10月８日(金)22:48	◑下弦
10月９日(月)16:00	10月りゅう座流星群が極大（出現期間10月5日～10月13日）
10月15日(日)02:55	●新月（北中アメリカ、ブラジルなどで金環日食）
10月22日(日)09:00	オリオン座流星群が極大（出現期間10月10日～11月5日）
12:29	◐上弦
10月24日(火)08:14	金星が西方最大離角（46.4°、-4.4等、視直径24.0″）
10月25日(水)21:00	みずがめ座ψ1星（4.2等）の食
	（新居浜：暗縁から潜入、高度47°）
10月29日(日)05:14	部分月食（半影食開始03時02分、部分食開始04時35分、
	食の最大05時14分、部分食終了05時53分、半影食終了07時27分）
05:24	○満月（ハンターズムーン）

企画展

プラネタリウムと愛媛

Planetarium and Ehime

2023.
10.7(土)－11.26(日)

開催期間中休館日：10月10日・16日・23日・30日、
11月7日・13日・20日・27日

会　場　愛媛県総合科学博物館
企画展示室

時　間　9：00～17：30（入室は17：00まで）

入場料　常設展示観覧料が必要

主催／愛媛県総合科学博物館

プラネタリウム
100周年

プラネタリウム――。大きなドームの中にたくさんの星々が映る様子が思い浮びます。
今ではおなじみとなったプラネタリウムは、1923年にドイツで誕生しました。
2023年は、それから100周年となります。
この100年の間に大きく進歩したプラネタリウムは、地上から見える星を再現する機能だけでなく、
今では宇宙のあらゆる現象を再現する宇宙シミュレーターのような存在となっています。
本企画展では、プラネタリウムの歴史を振り返るとともに、
天体の動きを再現する仕組みや、当館および愛媛県内のプラネタリウムについて紹介します。

01 プラネタリウムの歴史

最初に作られたツァイスⅠ型投影機はどのように誕生したのか、
その後プラネタリウムはどのように進歩し広まってきたのか、
プラネタリウム100年の歴史についてパネルで解説します。

02 プラネタリウムの仕組み

かつては歯車で天体の動きを再現していました。
展示された投影機を見ながら、プラネタリウムで
天体を投影する仕組みを紹介します。

①投影機の恒星と惑星を映す部分
②恒星を映すユニット

03 愛媛県総合科学博物館のプラネタリウムの歩み

当時世界最大のドーム径を持つプラネタリウムとして
1994年に開館して以来、当館では様々な番組を投影して
きました。使用されたスライドやチラシで当館のプラネタ
リウムの歩みを振り返ります。

③当館の現在の投影機　④・⑤番組の投影に使用されていたスライド（周囲の景色・モペット君）

04 愛媛県内のプラネタリウム

愛媛県内には当館以外にもプラネタリウムがあり
ます。ひとくちにプラネタリウムと言っても、施設
によって投影機や特徴が異なっていることを紹介
します。

⑥久万高原天体観測館の投影機（GE-ⅡT）
⑦西予市三瓶文化会館の投影機（MS-6）
⑧愛媛新聞プラネタリウムで使用されていた解説テープ

05 プラネタリウムの投影の流れ

プラネタリウムを投影するには様々な機器を操作する
必要があります。
では、普段のプラネタリウムの投影はどのようにして
行っているのか、写真などで解説します。

⑨プラネタリウムの操作台

関連イベント

プラネタリウム100周年！日本全国一斉オープニングイベント

2023年10月21日(土)
18:00～20:00

- プラネタリウム操作体験
- 100年前のドイツの星空を投影した特別投影
- 世界からの映像メッセージ、ドイツから100周年セレモニー前の中継

プラネタリウム観覧券が必要

詳しくはこちら

プラネタリウム特別投影

2023年11月12日(日)
①12:00～12:45／②15:00～15:45

①ブラック星博士愛媛征服計画：ダジャレで面白プラネタリウム
②明石市立天文科学館長によるプラネタリウムの歴史の紹介

プラネタリウム観覧券が必要

詳しくはこちら

熟睡プラ寝たリウム

2023年11月18日(土)、19日(日)、23日(木・祝)、25日(土)、26日(日)
各日 15:00～15:45

解説員の話を聞きながら、プラネタリウムでぐっすり眠る体験をしよう！

プラネタリウム観覧券が必要

詳しくはこちら

ワークショップ

場所 エントランスホール　時間 ①10:00～11:30／②13:30～15:00

オリジナル双眼鏡をつくろう

2023 10/7(土)～11/26(日)の土日祝

定員 ①②ともに先着5名
参加費 500円

オリジナルの双眼鏡をつくります！

詳しくはこちら

ゆめの惑星キーホルダー

2023 10/7(土)～11/5(日)の土日祝

定員 ①②ともに先着20名
参加費 300円

プラ粘土で惑星型のキーホルダーをつくります！

詳しくはこちら

惑星メモスタンド

2023 11/3(金・祝)～11/26(日)の土日祝

定員 ①②ともに先着20名
参加費 300円

紙粘土でメモスタンドをつくります！

詳しくはこちら

関連イベント

プラネタリウムをつくろう 事前予約制

2023年11月3日(金・祝)
①10:00～12:00
②13:30～15:30

対象 小学生以上とその保護者
※幼児の見学不可
定員 12組24名　参加費 1,000円(保険料込み)

申込締切：10月20日(金)
お申し込み方法は詳細ページをご覧ください
※応募者多数の場合は抽選となります。

詳しくはこちら